

まぎ新報

1月24日(金)

発行所 吉岐新報社
〒811-5131 長崎県吉岐市
郷ノ浦町永田触 91-3
TEL 0920-47-3196
FAX 0920-47-3197
ikishinpou@hm.iki-vision.jp
HP ikishinpou.com
発行 毎週金曜日
購読料 1ヶ月1,000円(税別)
発行人 大野英治

吉岐新報 LINE
公式アカウント



LINE

石田町でどうぶつ基金がTNR活動

約2千頭の応募が集まる



野良猫や多頭飼育崩壊の飼育猫などの繁殖を防ぐ不妊・去勢手術を行う「吉岐島TNR地域集中プロジェクト」の応募が、1月18日、21日、22日、3月8日、11日の実施が決まっている。

石田町山崎地区漁民センターで実施され、100頭を超える猫が手術を受け

た。どうぶつ基金(佐上邦久理事長)の主導によるもので、熊本県から移動手術車(スペイカー)と専門の獣医師を派遣し、島内の動物保護団体「吉岐島わんにゃんお守り隊299(ニクキュウ)」と市の職員とともに1日30頭ペースで進めた。市によると、すでに約2千頭もの応募が集まっており、今後も地区ごとに振り分けながら活動を行うという。今年度では、26、29日、来月19、22日、3月8、11日の実施が決まっている。

屋外に出していない、以前手術した猫がかかってしまったなど困難も多かったという。それでも地域内で繁殖力が高かった野良のオスとメスが手術できたと関係者はホッとした表情を見せた。最終日には篠原一生市長も現場に顔を見せた。

前回から島内の手術を担当する熊本市の獣医師、長井和樹さんは、帰りの船の時間ぎりぎりまで手術を行ったという。「一気に手術できれば効果があるので、島にいる全頭を手術するくらいの勢いで今後も臨みたい」と話した。

【TNR・さくらねこ活動とは】野良猫を捕獲(Trap)して不妊去勢手術を施し(Neuter)、元の場所に戻す(Return)活動。手術した証として、片耳の先を桜の花びらのような形にカットすることから「さくらねこ」と呼ばれる。

今回も猫の捕獲はボランティアや飼い主がえさを食べると扉が閉まる捕獲機で行ったが、寒さで